2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月12日

上場会社名　秩父鉄道株式会社　上場取引所　東
コード番号　9012　ＵＲＬ　https://www.chichibu-railway.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）牧野　英伸
問合せ先責任者　（役職名）総務部 部長　（氏名）小林　和世　ＴＥＬ　048-523-3311
半期報告書提出予定日　2026年11月12日　配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年中間期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	2,863	1.2	161	△45.5	133	△51.5	182	△22.7
2026年３月期中間期	2,828	9.8	296	257.6	274	304.7	235	827.7

（注）包括利益　2027年３月期中間期　160百万円（△33.3%）　2026年３月期中間期　241百万円（879.5%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	122.72	－
2026年３月期中間期	158.86	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年３月期中間期	16,532	5,687	34.4	3,821.01
2026年３月期	17,694	5,519	31.2	3,716.72

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　5,687百万円　2026年３月期　5,519百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	0.00	－	0.00	0.00
2027年３月期	－	0.00			
2027年３月期（予想）			－	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,700	1.1	260	△51.8	190	△60.8	230	△40.0	154.86

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無
　　新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
　①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無
　②　①以外の会計方針の変更　　：無
　③　会計上の見積りの変更　　：無
　④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	1,500,000株	2026年３月期	1,500,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	11,403株	2026年３月期	14,834株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	1,486,460株	2026年３月期中間期	1,485,286株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料３頁「１.当中間決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（中間連結損益計算書に関する注記） …… 8
（中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 9
３．補足情報 …… 11
（参考）鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入 …… 11

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におきましては、観光需要が堅調に推移したものの、物価の上昇や電力料金の高騰などにより、厳しい経営環境となりました。

このような中、当中間連結会計期間の業績につきましては、営業収益は2,863百万円（前年同期比1.2％増）、営業利益は161百万円（同45.5％減）、経常利益は133百万円（同51.5％減）、親会社株主に帰属する中間純利益は182百万円（同22.7％減）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりです。

［鉄道事業］

鉄道事業におきましては、旅客部門は、秩父札所午歳総開帳及び同業他社と連携するフリーきっぷの宣伝効果により、秩父・長瀞地域への来訪者が増加いたしました。これらに加え、秩父を舞台にしたアニメ作品や沿線地域の事業者と連携したＳＬ列車を運行したほか、各種記念乗車券類の発売など、積極的な営業施策を実施したこともあり、旅客人員及び旅客収入は前年同期に比べ増加いたしました。

貨物部門は、輸送量が減少したものの、貨物運賃の見直しを行ったことにより、貨物収入は前年同期に比べ増加いたしました。

営業費用は、前期から繰延となっていた修繕費などの設備関連費用のほか、電力費が電力単価の上昇により、前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益は1,881百万円（前年同期比2.5％増）、営業利益は５百万円(同95.7％減）となりました。

［不動産事業］

不動産事業におきましては、駐車場をはじめとする賃貸物件の稼働率向上などにより、賃貸収入は前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益は176百万円（前年同期比3.9％増）、営業利益は98百万円（同2.9％増）となりました。

［観光事業］

観光事業におきましては、長瀞ラインくだりの収入は長雨による運休が続いたことから前年同期に比べ減少したものの、宝登山ロープウェイや宝登山小動物公園の収入は「SUSABINOテラス」や「SUSABINOキッチン」の効果もあり、前年同期に比べ増加いたしました。

営業費用は、修繕費などが前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益は345百万円（前年同期比2.1％増）、営業利益は77百万円（同9.1％減）となりました。

［卸売・小売業］

卸売・小売業におきましては、一部商品の売上が減少したものの、概ね堅調に推移いたしました。

この結果、営業収益は331百万円（前年同期比0.1％減）、営業利益は７百万円（同0.5％減）となりました。

［その他］

建設・電気工事業におきましては、完成工事高が増加した一方で、工事原価が増加いたしました。バス事業におきましては、貸切バスの収入が減少いたしました。

この結果、営業収益は292百万円（前年同期比9.4％減）、営業損失は33百万円（前年同期は24百万円の営業損失）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における財政状態について、総資産は、前連結会計年度末に比べ1,161百万円減少し16,532百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ913百万円減少し1,538百万円、固定資産は247百万円減少し14,993百万円となりました。流動資産減少の主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産が減少したことによるものであります。固定資産減少の主な要因は、有形固定資産が減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,329百万円減少し10,844百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ1,361百万円減少し3,252百万円、固定負債は31百万円増加し7,592百万円となりました。流動負債減少の主な要因は、支払手形及び買掛金並びにその他に含まれる設備投資未払金が減少したことによるものであります。固定負債増加の主な要因は、再評価に係る繰延税金負債及び退職給付に係る負債が減少した一方、その他固定負債が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ167百万円増加し5,687百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する中間純利益を計上したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年５月14日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	790,988	785,310
受取手形、売掛金及び契約資産	1,091,634	283,004
分譲土地建物	92,589	92,410
商品及び製品	34,128	36,898
原材料及び貯蔵品	162,408	164,765
その他	284,784	180,451
貸倒引当金	△3,948	△3,871
流動資産合計	2,452,585	1,538,969
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,666,293	12,931,555
減価償却累計額	△10,176,311	△9,486,962
建物及び構築物（純額）	3,489,981	3,444,592
機械装置及び運搬具	4,537,576	4,518,781
減価償却累計額	△4,101,614	△4,128,640
機械装置及び運搬具（純額）	435,962	390,140
土地	10,947,636	10,821,576
その他	892,465	899,788
減価償却累計額	△780,203	△786,900
その他（純額）	112,261	112,888
有形固定資産合計	14,985,842	14,769,199
無形固定資産	87,260	85,279
投資その他の資産		
投資有価証券	120,476	95,349
繰延税金資産	19,088	18,649
その他	53,100	49,417
貸倒引当金	△23,988	△24,003
投資その他の資産合計	168,677	139,413
固定資産合計	15,241,780	14,993,892
資産合計	17,694,366	16,532,862

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	819,961	181,372
短期借入金	770,000	579,996
１年内返済予定の長期借入金	1,448,010	1,407,117
未払法人税等	66,427	15,406
未払消費税等	92,064	101,302
契約負債	107,131	111,357
賞与引当金	209,524	193,963
特別修繕引当金	－	15,946
その他	1,100,179	645,670
流動負債合計	4,613,300	3,252,131
固定負債		
長期借入金	3,177,109	3,168,426
繰延税金負債	12,893	5,182
再評価に係る繰延税金負債	3,157,820	3,122,686
退職給付に係る負債	873,815	841,115
特別修繕引当金	142,930	144,900
長期預り金	101,880	105,352
その他	94,675	205,128
固定負債合計	7,561,123	7,592,790
負債合計	12,174,423	10,844,921
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	29,459	29,403
利益剰余金	△2,347,087	△2,088,017
自己株式	△32,584	△25,048
株主資本合計	△1,600,213	△1,333,662
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,877	52,610
土地再評価差額金	6,914,708	6,837,773
退職給付に係る調整累計額	145,570	131,217
その他の包括利益累計額合計	7,120,157	7,021,602
純資産合計	5,519,943	5,687,940
負債純資産合計	17,694,366	16,532,862

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業収益	2,828,241	2,863,400
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	1,871,791	2,008,105
販売費及び一般管理費	660,351	693,979
営業費合計	2,532,142	2,702,084
営業利益	296,098	161,316
営業外収益		
受取利息	806	1,236
受取配当金	1,205	1,349
土地物件貸付料	11,574	9,651
その他	2,629	2,517
営業外収益合計	16,216	14,755
営業外費用		
支払利息	32,471	38,921
その他	5,011	3,761
営業外費用合計	37,483	42,682
経常利益	274,831	133,389
特別利益		
固定資産売却益	3,503	2,060
補助金受入額	330	－
投資有価証券売却益	－	45,345
特別利益合計	3,833	47,406
特別損失		
固定資産圧縮損	330	－
固定資産除却及び撤去費	－	23,771
減損損失	1,301	－
賃貸借契約解約損	3,765	－
特別損失合計	5,397	23,771
税金等調整前中間純利益	273,268	157,023
法人税、住民税及び事業税	36,874	9,279
法人税等調整額	438	△34,667
法人税等合計	37,313	△25,388
中間純利益	235,955	182,412
非支配株主に帰属する中間純利益	－	－
親会社株主に帰属する中間純利益	235,955	182,412

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	235,955	182,412
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,146	△7,266
退職給付に係る調整額	△957	△14,353
その他の包括利益合計	5,189	△21,619
中間包括利益	241,144	160,792
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	241,144	160,792
非支配株主に係る中間包括利益	－	－

（３）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結損益計算書に関する注記）

※１．　販売費及び一般管理費の主なものは次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
給与・手当	229,630千円	235,127千円
賞与引当金繰入額	35,693	45,709
退職給付費用	23,385	27,720
減価償却費	14,473	5,679

（中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

※１．　現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
現金及び預金勘定	1,170,752千円	785,310千円
現金及び現金同等物	1,170,752	785,310

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自2025年４月１日 至2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
	鉄道事業	不動産事業	観光事業	卸売・小売業	計				
営業収益									
外部顧客への営業収益	1,829,622	162,645	334,950	317,052	2,644,270	183,971	2,828,241	－	2,828,241
セグメント間の内部営業収益又は振替高	5,417	7,285	3,128	15,236	31,067	139,099	170,166	△170,166	－
計	1,835,039	169,930	338,078	332,288	2,675,337	323,070	2,998,407	△170,166	2,828,241
セグメント利益又は損失（△）	125,467	96,177	85,678	7,825	315,148	△24,513	290,635	5,463	296,098

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バス事業、旅行業及び建設・電気工事業を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額5,463千円には、固定資産未実現損益の消去額2,099千円、セグメント間取引消去額3,364千円が含まれております。

３．セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自2026年４月１日 至2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
	鉄道事業	不動産事業	観光事業	卸売・小売業	計				
営業収益									
外部顧客への営業収益	1,876,846	169,409	343,739	317,375	2,707,370	156,030	2,863,400	－	2,863,400
セグメント間の内部営業収益又は振替高	4,905	7,140	1,322	14,621	27,988	136,665	164,654	△164,654	－
計	1,881,751	176,550	345,061	331,996	2,735,359	292,695	3,028,055	△164,654	2,863,400
セグメント利益又は損失（△）	5,392	98,945	77,886	7,790	190,014	△33,713	156,300	5,015	161,316

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バス事業、建設・電気工事業を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額5,015千円には、固定資産未実現損益の消去額1,350千円、セグメント間取引消去額3,664千円が含まれております。

３．セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

３．補足情報

（参考）鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入

			当中間 連結会計期間	前中間 連結会計期間	増減率（%）
旅客人員	定期	千人	2,209	2,254	△2.0
	定期外	〃	1,629	1,559	4.5
	計	〃	3,839	3,813	0.7
貨物トン数		千トン	670	768	△12.8
旅客収入	定期	百万円	354	367	△3.4
	定期外	〃	744	715	4.0
	計	〃	1,098	1,083	1.4
貨物収入		〃	650	630	3.2